

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-41186

(P2012-41186A)

(43) 公開日 平成24年3月1日 (2012. 3. 1)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 6 5 F 1/10 (2006.01)	B 6 5 F 1/10 Z A B	3 E 0 2 3
B 0 9 B 3/00 (2006.01)	B 0 9 B 3/00 Z	4 D 0 0 4
B 0 9 B 5/00 (2006.01)	B 0 9 B 5/00 L	
B 6 5 F 1/00 (2006.01)	B 6 5 F 1/00 E	

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2010-201368 (P2010-201368)
 (22) 出願日 平成22年8月23日 (2010. 8. 23)

(71) 出願人 510242598
 有限会社小澤建装
 東京都福生市北田園 1-3-6
 (72) 発明者 小澤 博
 東京都福生市北田園 1-3-6
 Fターム (参考) 3E023 AA19 HA00
 4D004 AA10 AA18 AA27 AC02 CA03
 CA04 CA07 CA09 CB05 CB42
 DA01 DA11

(54) 【発明の名称】 資源ゴミ分別収納処理器

(57) 【要約】

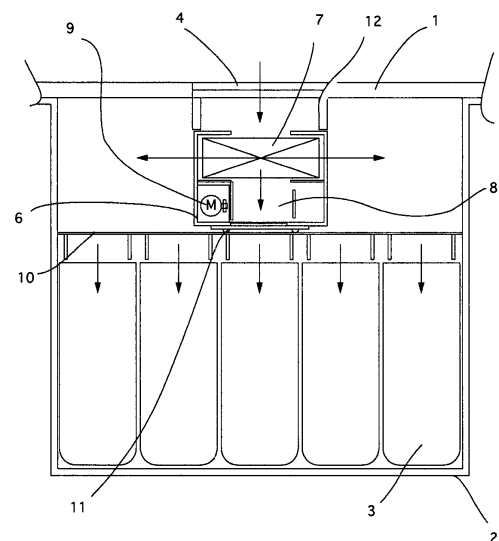
【課題】

キッチン周辺の窓下の屋外スペースに資源ゴミ分別収納処理器を設置し、屋内キッチン出窓部分に設けた資源ゴミ投入口より該資源ゴミを投入分別し、圧縮／破碎、及び分別収納を可能にし、エコロジー環境を実現する。

【解決手段】

資源ゴミ投入口 4 より投入された資源ゴミは、資源ゴミ分別収納処理器本体 2 内の、分別センサー部 7 で分別され圧縮／破碎が必要な、例えば缶等は、圧縮／破碎部 8 で圧縮／破碎され移動レール 10 を分別指定位置に移動、資源ゴミ指定袋 3 に収納される。

【選択図】 図 5



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

資源ゴミ分別収納処理器に於いて、家屋キッチンに設けられた出窓下屋外スペースに設定する事を特徴とする資源ゴミ分別収納処理器。

【請求項 2】

前記資源ゴミ分別収納処理器に於いて、屋内キッチンの出窓にゴミ投入口を設け、屋内より屋外で窓下の収納処理器にゴミを投入できる事を特徴とする、請求項 1 記載の資源ゴミ分別収納処理器。

【請求項 3】

前記資源ゴミ分別収納処理器に於いて、屋内キッチンのゴミ投入口より投入された資源ゴミを、分別、圧縮、破碎を行い、各指定のゴミ袋に分収する事が出来る機能を、屋外出窓下に設けた事を特徴とする請求項 1 及び請求項 2 記載の資源ゴミ分別収納処理器。 10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は資源ゴミ分別収納処理器に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

資源ゴミの分別収納又は処理は現代社会に於いて、エコ運動、環境問題促進の上から重要な事であり、ゴミ分別収納器は広く利用され、その種類形態も多い。又使用されている資源ゴミ分別収納形態は、市区町村によってゴミの回収方法に違いがある為一概には言えないが、一般家庭に限った場合ゴミ収納箱、又はゴミ袋の利用が多い。 20

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

しかし、行政処理上、回収日迄は家庭内で保存する必要がある、特に資源ゴミの大半を占める瓶、缶、ペットボトル、トレー等はその滞留日数によっては、キッチン又はその周辺に置かれ、その収納スペース、及び資源ゴミから出る汚れ、及び、臭いの発生等、生活環境及び衛生面の問題がある。

【課題を解決する手段】

【0004】
本発明は、前記した課題を解決するもので、一戸建て家屋のキッチン周辺には出窓が設けられており、該出窓直下の屋外空きスペースに資源ゴミ分別収納処理器を設け資源ゴミの処理をするものである。 30

【0005】

前記資源ゴミ分別収納処理器は、屋内キッチン周辺の出窓部分に開閉自在な投入口を設け、前記の通り瓶、缶、ペットボトル、トレー等の資源ゴミを処理するもので、投入した該資源ゴミを、分別、圧縮、破碎する機能を設け、前記資源ゴミを夫々省スペースにまとめ、各資源ゴミ指定袋に収納出来るように構成されている。

【発明の効果】

【0006】
資源ゴミ分別収納処理器の設置をキッチン周辺の屋外出窓下に設ける事で、資源ゴミに依る屋内スペースを占有する事がない。 40

【0007】

屋内キッチン周辺の出窓部分に開閉自在な投入口から資源ゴミの投入が出来効率もよく屋内での臭いの発生もない。

【0008】

又投入された資源ゴミ（瓶、缶、ペットボトル等）は収納処理器に設けられた分別機能により自動、手動（レバー／ボタン操作等）で分別され、その後瓶、ペットボトルは圧縮装置により圧縮され各指定のゴミ袋に収納されるので手間がかからない。 50

【0009】

あまり利用されていない屋外出窓下に資源ゴミ分別収納処理器を設置する事の有効活用。並びに、該資源ゴミ分別収納処理器による資源ゴミの処理は、環境に優しいエコロジーなのである。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】資源ゴミ分別収納処理器の流れを示す構成図。（自動分別）

【図2】資源ゴミ分別収納処理器の流れを示す構成図。（簡易分別）

【図3】資源ゴミ分別収納処理器を屋外より見た設置場所を示す斜視図。

【図4】資源ゴミ分別収納処理器の屋内キッチン出窓部分を示す平面図。

【図5】資源ゴミ分別収納処理器を示す概略構造図。

【図6】資源ゴミ分別収納処理器の簡易分別方式を示す構造図。

【発明を実施するための形態】

【0011】

キッチン周辺の出窓下空きスペースを利用し、該出窓直下の屋外に資源ゴミ分別収納処理器を設け、屋内キッチン周辺の出窓部分に開閉自在な投入口を設置し瓶、缶、ペットボトル、トレー等の資源ゴミを処理するもので、投入した該資源ゴミを、分別、圧縮、破碎する機能を形成、前記資源ゴミを夫々省スペースにまとめ、各資源ゴミ指定袋に収納出来る事を実現した。

【実施例】

【0012】

本発明の実施例を図1～図6に依って説明する。

キッチン出窓1に設けた資源ゴミ投入口4により、資源ゴミは、ゴミ投入シューター12を介し出窓下屋外に設置した資源ゴミ分別収納処理器本体2内部の、自動分別圧縮機本体6に投入落下する。

【0013】

落下した資源ゴミは、自動分別圧縮機本体6内の分別センサー部7の重量センサーで分別される。該自動分別圧縮機本体6は移動車輪11を有し、移動レール10で分別指定のレール位置へ移動する。

【0014】

瓶類は、重量差で他の資源ゴミと分別され、資源ゴミ指定袋収納部3へ収納される

【0015】

缶、ペットボトル、トレー類は分別センサー部7のマグネット分別、又は光センサー、及びリサイクルマーク読み取り等の分別装置により分別され、圧縮／破碎部8で圧縮／破碎され、分別指定のレール位置へ移動、資源ゴミ指定袋収納部3へ収納される。

【0016】

又、簡易分別方式は、自動分別センサー部7を略し、キッチン出窓1に手動分別レバー／ボタン5を設ける事で簡易化が出来る。

【符号の説明】

【0017】

- 1：キッチン出窓
- 2：資源ゴミ分別収納処理器本体
- 3：資源ゴミ収納袋収納部
- 4：資源ゴミ投入口
- 5：手動分別レバー／ボタン
- 6：自動分別圧縮器本体
- 7：分別センサー部
- 8：圧縮／破碎部
- 9：電動機
- 10：移動レール

10

20

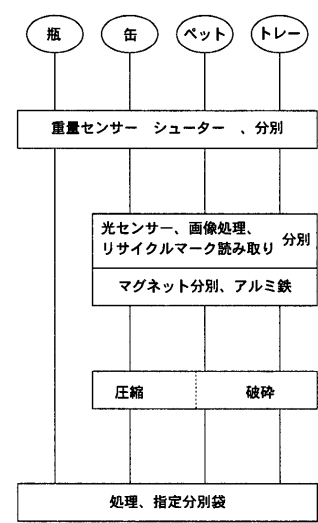
30

40

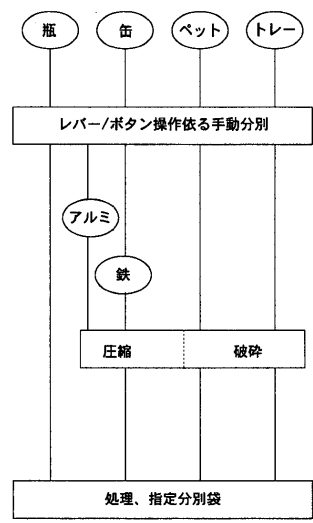
50

- 1 1：移動車輪
- 1 2：ゴミ投入シューター

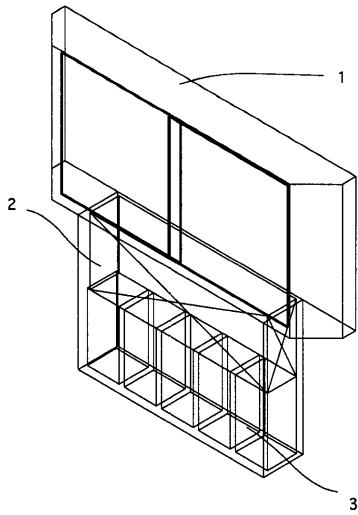
【図 1】



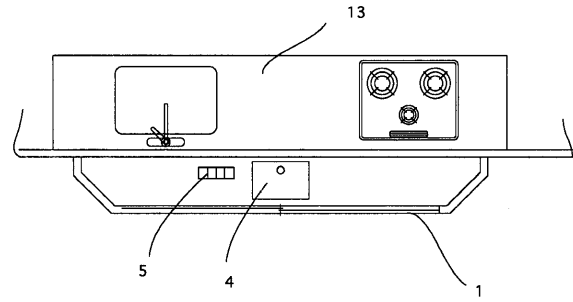
【図 2】



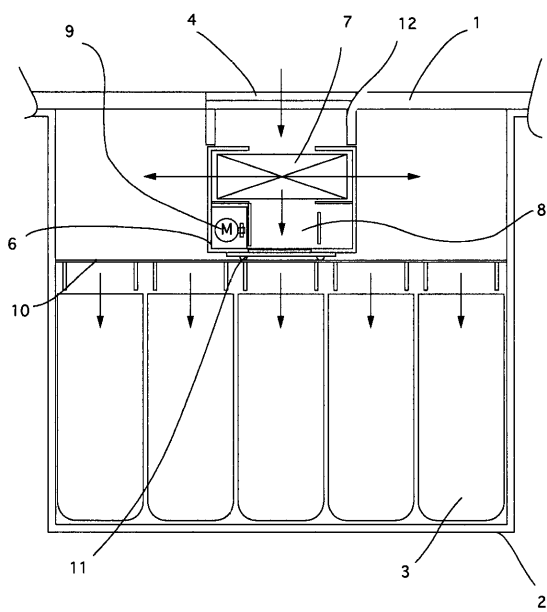
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

